

日本共産党  
伊丹市議員団  
ニュース

第266号  
発行  
2013年  
1月1日

伊丹市千僧1-1  
783-1234  
(内線 3494)

市民のみなさまの期待を胸に

心新たに奮闘します

新年明けましておめでとうございます。

昨年12月に行われた総選挙では、日本共産党に対して暖かいご支援をいただき、心からお礼を申し上げます。私たちは、近畿ブロックで4議席確保、全国で議席倍増を目標に奮闘しましたが、伊丹市でも比例区得票率で前回より2%減らし、残念ながら全体で1議席後退する結果となりました。党議員団としてもみなさんの期待に応えることができなかったことに、責任を痛感しています。今後、みなさんのご意見に耳を傾け、これからの運動に生かしていきたいと思っております。

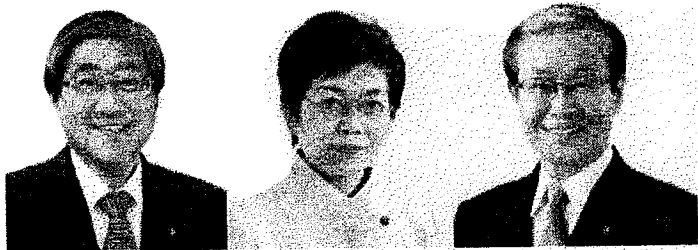
総選挙では、自民・公明両党で320議席を超え、自公政権が復活することになりました。しかしこの結果は、3年余りの民主党政権の失政への国民の怒りがもたらしたものであり、決して自民党への期待の表れではありません。私たちは、憲法9条守れ、消費税増税ストップ、原発をゼロに、TPP反対などを選挙中に訴えてきましたが、この訴えが届いたところでは共感が広がり、今後の運動に生かされると確信しています。

今年4月の市長選挙に続き、7月には知事選挙・参議院選挙が行われます。党市会議員団は、みなさんのご期待に応えるため、デフレ不況を抜け出し住民の暮らしを守り活力ある地域経済を、憲法9条を守り平和な社会・地域を、原発に頼らない社会実現と再生可能エネルギーの発展など、市政・県政・国政におけるあらゆる分野での運動の先頭に立って奮闘します。引き続き、暖かいご支援をよろしくお願いいたします。

2013年 元旦



今年もよろしく申し上げます



上原 ひでき 090-3355-8251  
ひさ村 真知子 090-4491-7251  
かしば 優美 090-3355-8255

2013年 日本共産党

新春のつどい

1月19日(土) 午後7時より  
いたみホール6階 中ホール

参院比例区予定候補



(北海道、東北、北関東) (東京、南関東) (北陸信越、東海、京都) (近畿(京都を除く)) (中国、四国、九州・沖縄)

紙 智子 小池 晃 井上さとし 山下よしき 仁比そうへい

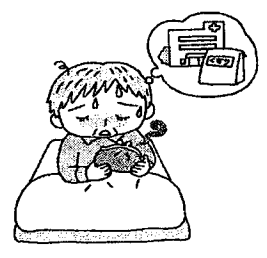
参院兵庫選挙区予定候補

金田峰生(党国会議員団兵庫県事務所長)

# 日本共産党議員団、一般質問や質疑で奮闘

## 高すぎる国保税の値上げやめよ 上原ひびき 議員

市は、国保財政の試算で5年後には赤字が約60億円となり、毎年約3億円の国保税値上げが必要と提起。これにより5年後には国保税が約1.5倍にもなります。伊丹市の国保加入者は所得ゼロが23.6%、所得200万円以下が73.3%を占めて低所得者が中心であり、国保が貧困を拡大しているのが実態です。値上げをやめて払える国保税にするため、国に対する補助金増額と、一般会計からの繰り入れを増すことを求めました。



## 保健センターの拡充は不可欠 かしば優美 議員

市役所周辺の施設活用について、当初旧図書館跡に保健センターを移設する計画が、昨年末防災センターの設置へと突如変更となりました。この変更案に共産党議員団は反対しましたが、結局保健センターは現状維持の計画です。しかし母子保健サービスタ以外の成人検診等は市役所南館で実施している現状から、市の計画案には無理があります。党議員団は、旧法務局跡地に計画している発達支援センターを増築して保健センターの一部機能を移すなど、拡充策を提案しました。

## 天王寺川増水時の安全対策要求 ひさ村真知子 議員

- ① 天王寺川の西野区域は新たに市の「水と緑のネットワーク」政策で護岸工事と整備が実施され、通行者が増えています。しかし、川の増水時に通行が危険な箇所があり、対策が必要となっています。増水時の安全対策と、歩道の照明の増設を求めました。
- ② 市営住宅に在住の高齢者、障害者がバリアフリー住宅に住み替えられるよう、民間マンションの借り入れ計画の促進を求めました。
- ③ 自営業者を含め、生活困難者に生活保護の申請権の保障を求めました。

## 市民病院の消費税負担改善を

社会保険診療報酬に対して、消費税は非課税のため、医療機器などの購入にかかる消費税は、市民病院の大きな負担となつていまます。現行仕組みのまま税率が引き上げられると、消費税負担が増加し、病院経営を圧迫することが明らかです。

9月議会で党議員団が問題点を明らかにして、病院側も各会派の理解を得る努力をした結果、12月議会では全会一致で意見書をまとめることができました。



## 教育機関になじまない「市立図書館北分館の民間委託」

市立図書館北分館の管理を、「NPO法人まちづくりステーションきらめき」に5年間、委託する議案が提案されました。党議員団は、図書館は学校と並ぶ教育機関であり、期限を切った管理の委託は、職員研修機会の確保等、人材の育成が困難になることなどから、教育委員会が直接管理すべきと、議案に反対しました。

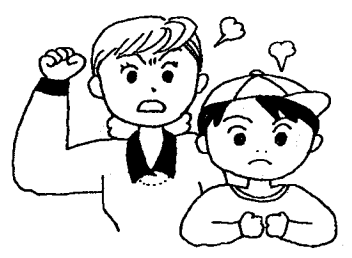
## 議案・請願に対する態度

議案・請願名	可否	日本共産党	新政会	公明党	市民連合	躍進会	蒼翠会	会派に属さない議員
市立図書館北分館(キラウホール内)の管理を民間委託する条例	可決	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
医療に対する消費税の改善を求める意見書	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
伊丹市独自の35人学級の実現を求める請願	否決	賛成	反対	反対	反対	反対	反対	賛成1人 反対1人

- ・新政会 [佐藤、戸田、市川、岩城、加藤、大路、吉井]
- ・公明党 [竹村、篠原、山本、北原、坪井、山内]
- ・躍進会 [小西、山園、新内]
- ・蒼翠会 [中田、杉]
- ・伊丹市民連合 [保田、西村、櫻井、泊、川上]
- ・会派に属さない議員 [林、相崎] ※敬称略

## 「市民連合」(民主会派)の反対討論 (傍聴記)

驚いた!



12月議会には「伊丹市独自の35人学級の実現を求める請願書」が17628筆の署名を添えて提出されましたが、日本共産党議員団と相崎議員(無所属)の賛成少数で不採択となりました。この請願に反対者の代表として登壇したのが西村議員(市民連合)です。会派には伊丹教組出身の議員も入っていますが、35人学級は「いじめ対策」からも必要だが、市の財政がひっ迫しているので反対。「総論賛成・各論反対」では市政の何のチェックにもなりません。市民のために必要なことは国や県から予算を引き出して実行せよ、と迫るのが議員の役割ではありませんか。1万7千人余りの市民署名の重みを理解できないのでしょうか。(傍聴したH氏の投稿)